

メガネサナエのモニタリングについて

諏訪地域振興局環境課

1 成虫調査（令和元年～）

宮川沿い約 1 km を往復し、ラインセンサス法により成虫の個体数を調査した。

実施日	令和 5 年 8 月 30 日 (水)		令和 5 年 9 月 11 日 (月)		令和 5 年 9 月 29 日 (金)	
	往路	復路	往路	復路	往路	復路
天候	曇り	曇り一時晴れ	曇り	曇り／晴れ	晴れ	晴れ
気温 (°C)	29.0	31.0	25.0	27.0	24.0	29.0
風向	NE	NE	E	E	-	NE
風力 (m/s)	1.0	1.0	2.0	1.0	0	2.0
雲量 (%)	100	100	50	50	5	10
照度 (lux)	35,000	60,000	23,000	43,000	82,000	100,000
開始時刻～終了時刻	13:50～ 14:40	14:40～ 15:30	9:00～ 9:50	9:50～ 10:50	9:00～ 11:00	11:00～ 12:10
調査人数	3	3	2	2	3	3
メガネサナエ確認数 片道ごとの平均	3.3	1.0	1.0	1.0	48.3	45.7
メガネサナエ確認数 往路復路平均	2.2		1.0		47.0	

調査した 3 日ともにメガネサナエを確認することができた。

確認された個体は、ほとんどがオスで、川の壁面に静止しているものや、川の水上进行してトリリーを形成しているものが確認された。確認数は 9 月 29 日が最も多く、雌雄連結も確認された。

2 羽化殻調査（令和 2 年～）

羽化期にあたる 7 月から 8 月に、①諏訪市湖岸通り、②下諏訪町東赤砂の下諏訪港から一ツ浜公園、③岡谷市岡谷湖畔公園の栈橋や湖岸において、羽化殻数を調査した。



実施日	令和 5 年 7 月 14 日 (金)			令和 5 年 7 月 26 日 (水)			令和 5 年 8 月 9 日 (水)			総計
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	
メガネサナエ	44	8	2	31	7	3	14	1	2	112
ウチワヤンマ	33	7	7	4	0	0	0	0	0	51
オオヤマトンボ	19	11	1	6	6	3	3	1	1	51
コフキトンボ	134	2	8	90	4	16	34	1	5	294
ミヤマサナエ	9	0	2	10	0	0	0	0	0	21

諏訪市、下諏訪町、岡谷市の 3 地点ともメガネサナエの羽化殻が確認された。

羽化殻は栈橋の木柱でより多く観察され、メガネサナエの主要な羽化場所となっていることが示唆された。

メガネサナエの羽化殻数は 8 月上旬の調査では減少したことから、主に 7 月中下旬にかけて羽化しているものと推測される。

3 メガネサナエの保全手法検討会議（令和3年～）

- (1) 開催日時 令和6年1月10日（月）13時30分～14時40分
- (2) 場 所 諏訪合同庁舎5階 502号会議室
- (3) 参集範囲 有識者（日本トンボ学会）、諏訪市環境課、諏訪市教育委員会、水大気環境課、環境保全研究所自然環境部、諏訪建設事務所整備課、諏訪地域振興局環境課
- (4) 概 要
 - ・ リーフレットの配布だけでなく、説明があったのはよかった。また、実物の羽化殻に触れることで、子どもたちがより関心を持つことができた。
 - ・ 学校の先生向けの研修でメガネサナエについて学ぶ機会をつくる方向で調整する。
 - ・ 地元区の協力が必要ではないか。公民館や自治会が熱心に参加している事例もある。



メガネサナエ等の羽化殻を観察する生徒



メガネサナエの保全手法検討会議の様子